

令和5年度

外部評価結果
グループホームうえの



ケアホームうえの「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 十日町福祉会	代表者	尾身 晴夫	法人・ 事業所 の特徴	事業所の立地を生かし、住み慣れた地域で生活や暮らしが継続できるように支援を行います。
事業所名	ケアホームうえの	管理者	飯塚 敦子		

出席者	市町村職員	0人	知見を有するもの	2人	地域住民・地域団体	1人	利用者	1人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	0人	事業所職員	3人	その他	0人	合計	9人
	項目																			

項目	今年度の改善計画	今年度の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画・次年度の取り組み
A. 事業所自己評価の確認	「個々に自己評価を振り返り、できていないところを1つでもできるように取り組みます」	・定期的にリーダー職員と面談を行い、取り組みの進捗状況を双方で確認しながら進めました。 ・季節を感じさせ花を飾り、いつもの場所でなじみの関係づくりを行いました。	・評価項目が多岐にわたり、また項目が細かくあり大変だったと思う。事業所として方向性が定まっていることがわかった。 ・平屋造りを生かし、花や野菜をつくり水やりや収穫といった活動を通じて楽しみに繋げていた。	・自己評価の低かった項目やできなかったところを重点的に取り組みます。 ・職員も環境の一部と捉え、接遇の向上を目指します。整理整頓清潔を心掛けます。
B. 事業所のしつらえ・環境	「安心できる居場所、楽しみや張り合いを感じ得られる環境を作っています」	・感染症の制限下で思うように活動ができませんでした。事業所内活動をホームページや広報誌で積極的に発信をしました。	・地域の祭り神輿の休憩所として協力し住民に認知ができたと思う。回覧板を通して広報誌の発行ができていた。	・地域でケアを支え合うため関係者（地域資源）と情報交換会を行います。
C. 事業所と地域のかかわり	「暮らしに潤いを得られるような居場所、立ち寄りやすい事業所になるように工夫・企画・実施しそれを地域に発信します」	・畑作業や地域文化祭展示参加を継続できました。川西特別支援高等学校の生徒の皆さんと合同でバス停清掃活動を実施しました。	・感染症の制限下であったと思うことが出来ていた。今後も継続していい。事業所の考え方や要望が理解出来てきたため行事の際に集落内事業所としてすすめられた。それぞれの立場でも地域の情報を理解でき良かった。	・事業所にて地域住民参加型の催し物を企画実施する。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	「畑作業やバス停清掃活動を通して、地域の方と交流を深めていきます」	・運営推進会議にて助言をいただき、地域住民の皆様から集落事業所として認知また、その一歩先に進めるよう取り組みでいきます」	・事業所の考え方や要望が理解出来てきたため行事の際に集落内事業所としてすすめられた。それぞれの立場でも地域の情報を理解でき良かった。	・地域住民の情報共有し、必要な支援や交流活動に生かします。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	「消防・防災計画をしっかりと作成して、事業継続計画 BCP を作成し実際の訓練に生かします」	・計画通りに実施できました。防災BCPは作成途中です。	・訓練は職員人数が少ない時を想定して実施計画をする。 ・BCP は定期的に見直しを行い、実際の場面で使えるもの、職員に丁寧に説明をしておく必要がある。	・事業継続計画 BCP に沿ってシミュレーションや訓練を行います。
F. 事業所の防災・災害対策				

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	0	0
2	改善計画に対する取り組み結果 ・個々の取り組みについて定期的にリーダー職員と面談を行い進捗状況を双方で確認しながら進めました。 前回の改善計画 「個々に自己評価をふりかえり、できていないところを1つでもできるように取りくみます」	4	0	1
3	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5	0	0

【上記のチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

・多岐にわたり、また項目が細かくあり、大変であったと思う。事業所として方向性が定まっていることがわかった。

【今年度の改善計画に対しての意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

・定期的にリーダー職員と面談を行い、取り組みの進捗状況を双方で確認しながら進めました。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

・ポイントが低かった項目を挙げ、次年度の取り組みとしている。一人でもポイントを上げられるように取り組んでほしい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

・グループホームは暮らし生活の場なので項目が多く、加えて1項目ごとに目標達成に向けて取り組みを立てなければいけず大変だと思った。

・自己評価が「ほぼできている」とあったが、謙遜せず「充分できている」と評価してよい

・人を相手にする内容に点数をつけることは難しいと思った。

・コロナウイルスが5類になったとて事業所内でこれだけ感染や蔓延が発生していないことは利用者家族として、これほどありがたいことはない。日々の感染予防対策がきちんとされている証拠と思います。

【今回の改善計画・次年度の取り組み】

・自己評価の低かった項目やできなかったところを重点的に取り組みます。

グループホームは「地域交流や地域活動」

小規模多機能ホームは「自宅での暮らしの様子の把握や思いの共有」

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	改善計画に対する取り組み結果 ・季節を感じさせる花を飾り、いつもの場所でなじみの関係づくりを行いました。 前回の改善計画 「安心できる居場所、楽しみや張り合いを感じ得られる環境を作っていきます。」 に対して具体的な取り組みが行われていましたか？	4	0	0
2	事業所は居心地がいい空間になっていますか？	5	0	0
3	事業所は地域の方が立ち寄りやすい雰囲気や環境になっていますか？	4	0	1
4	事業所内・外に不快な音や臭いはないですか？	5	0	0

【上記のチェック項目に関する意見】

・平屋造りを生かし、プランターで花やスイカなどを作り、水やりや収穫といった活動を通じて楽しみにつながる仕掛けをしていた。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・第2駐車場に改修したことで沿線から見えるようになり認知しやすくなった。
- ・洗濯物を外に干すなど生活感・暮らし感が見られてよい。
- ・掃除がされており感染症の観点からも衛生的に保たれていた。
- ・利用拒否がないという事は居場所があり、居やすい環境が出来ているという事だと思う。
- ・職員が働きやすい環境が良いサービスにつながり利用者に還元されることにつながる。

【今回の改善計画・次年度の取り組み】

・職員も環境の一部と捉え、接遇の向上を目指します。整理整頓清潔を心がけます。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	改善計画に対する取り組み ・感染症の制限化で思うように活動できませんでした。事業所内活動をホームページや広報誌で積極的に発信をしました。 前回の改善計画 「暮らしに潤いを得られるような居場所、立ち寄りやすい事業所になるように工夫・企画・実施して、それを地域に発信します」 に対して具体的な取り組みが行われていましたか？	5	0	0
2	事業所は地域の方に知られていますか？	5	0	0
3	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	0	0

【上記のチェック項目に関する意見】

- ・バス停の清掃や川西特別支援高等学校の生徒との交流など、積極的に活動をしている。
- ・上野小学校 150 周年のイベント、花絵プロジェクトに地域の一人として参加した。
- ・川西中学校学生の実習受け入れを行った。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・集落として利用をしたいと思った。
- ・地域祭りの休憩所として事業所を提供したことで地域住民の認知度が上がったと思う
- ・隣接する千手かたくりグループホームも地域住民として位置づけられる。防災訓練等を一緒に行っているが今後何かあった時には助けてあげてほしい。
- ・実習生が家庭で事業所の話をするすることで、より事業所が身近なところになり地域に広がっていく。
- ・集落の人口がどんどん減っていく中で、集落内事業所に何ができるか考えている。
- ・降雪時期の除雪などご近所の方の協力体制の情報を得ることができた。
- ・NPO サービスや配食サービス業者、民生委員と情報を共有しました。

【今回の改善計画・次年度の取り組み】

- ・地域で支え合うためケア関係者（地域資源）と情報交換会を行う。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	<p>改善計画に対する取組み結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑作業や地域文化祭展示参加を継続出来ました。川西特別支援高等学校の生徒の皆さんと合同でバス停清掃活動を実施しました。 <p>前回の改善計画 「畑作業やバス停清掃活動を通して、地域の方と交流を深めていきます。」 に対して具体的な取組みが行われていましたか？</p>	5	0	0
2	積極的に屋外活動への支援をしていますか？	5	0	0
3	事業所は地域住民と交流をしていますか？	5	0	0

【上記のチェック項目に関する意見】

- ・バス停の清掃などの取組みが継続できている。
- ・川西地区の催しもの（文化祭や自慢祭）などに積極的に出かけている。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・法人ホームページ投稿が定期的に来ている。
- ・継続していく事が大切。

【今回の改善計画・次年度の取組み】

- ・清掃活動や出向いていく活動の継続
- ・事業所にて地域住民参加型の催し物を企画実施する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	改善計画に対する取組み結果 ・諏訪様境内の草取り作業や四年ぶりに開催された神輿渡御の休憩所参加ができ、少しずつですが地域住民の方々に認知してもらえたと思います。 前回の改善計画 「運営推進会議にて助言をいただき、地域住民の皆様から集落内事業所として認知またその一歩先に進めるように取り組んでいきたい」 に対して具体的な取組みが行われていましたか？	5	0	0
2	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5	0	0
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5	0	0

【上記のチェック項目に関する意見】

- ・事業所の考え方や要望を理解できたため何か行事の際に集落内事業所として考えられた。
- ・それぞれの立場で地域の情報を共有できたのは、とてもよかった。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・委員は会議を通じて事業所の理念等を理解できたが地域住民にどのように進めていくか何か共通のツール（例：地域ラジオ）など、あるといいと思った。
- ・地域に馴染む馴染まないと思うより基本的に会ったら挨拶する、スマートに考えればよい。

【今回の改善計画・次年度の取組み】

- ・地域住民の情報を共有し、必要な支援や交流活動に生かします。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	改善計画に対する取り組み結果 ・計画通りに実施できました。防災 BCP は作成途中です。 前回の改善計画「消防・防災計画をしっかりと立て、事業継続計画 BCP を作成し実際の訓練に生かします」 に対して具体的な取り組みが行われていましたか？	5	0	0
2	地域住民は、事業所の防災訓練に参加・参画していますか？	5	0	0
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4	1	0

【上記のチェック項目に関する意見】

・BCP は実際の場面で使えるものでなければいけない。作って終わりではなく定期的に見直しをしていかなければならない。現場の職員が有事の際に BCP を使えるように、しっかり説明し周知をすること。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

・防災訓練は夜間想定など職員が少ない場面を想定して行うようにしてほしい。
 ・火災だけでなく地震や雪害なども想定して行うとよい。
 ・備蓄食や水などの管理を誰がいつ行うのか等も決めておく必要がある。
 ・有事、復旧に時間がかかる場合、集落は集落内事業所として救援物資などの配布も含め、するのがあたりまえだと思っている。
 ・集落も地域防災訓練計画を作成予定。上野の特徴を活かした計画にしたいと考えている。できるところできないところ、お金や労力、全集落対象の訓練の参加率、防災備品の量等、行政とコミュニケーションをとりながら進めていく予定。

【今回の改善計画・次年度の取り組み】

・事業所計画 BCP に沿ってシュミレーションや訓練を行います。